



## 応用行動分析（ABA）を用いた行動理解

○こんな子どもはいませんか？

授業中の立ち歩き



私語が多い



課題をやらない



教室から出ていく



友だちと  
トラブルになる



○これらの行動はどうして起こるのか？

<応用行動分析> 行動の要因を目に見えない「こころ」ではなく「行動」に着目し、行動の前後を操作することで行動を制御する方法。



### Point 1 ABC 分析

行動を、『きっかけ (A)』『行動 (B)』『結果 (C)』の一連の流れで考える分析方法のことです。



例) 「授業中に立ち歩く」という行動を A と B と C に分けて分析すると…



このように、あるきっかけのもとで、行動を起こし、結果が得られます。きっかけと結果は、行動によって因果関係を結んでいるということになります。

「ABC 分析」では、行動の原因を、発達や認知、特性といった個人の内面におくのではなく、環境要因との相互関係から考えていきます。

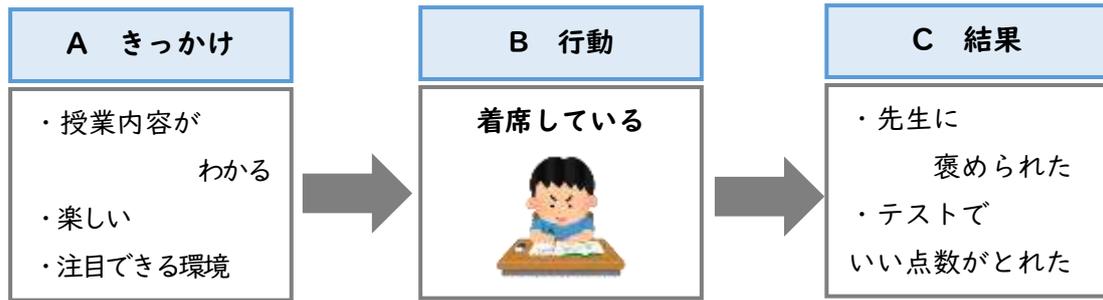


反対に、良い行動ができているときはどんなときでしょうか…

行動問題「授業中に立ち歩く」



→ 良い行動「座って授業を受ける」

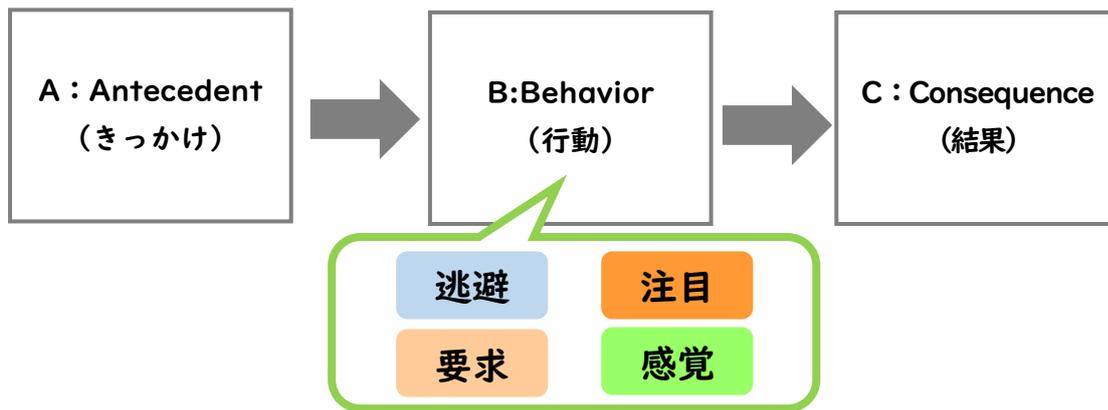


良い行動ができている時を分析することで支援のヒントが見つかるね!



## Point 2 機能分析

行動が生起する理由やその目的のことを「機能」といいます。行動には**4つの機能**があります。



「逃避」 → 何かから逃れたくて起こす行動

「注目」 → 自分を見てほしくて起こす行動

「要求」 → 何かを手に入れたくて起こす行動

「感覚」 → その感覚が楽しくて起こす行動

子どもたちが起こす行動には必ず何らの意味や理由があります。子どもの視点に立って行動を見ていくと、「行動の機能」が見えてきます。

### ～行動理解の流れ～

【ステップ1】 「ABC分析」で行動を整理する。  
行動の前後に注目する。

【ステップ2】 行動の機能を考える。  
「逃避」「注目」「要求」「感覚」

記録を  
取りましょう!



次号では、支援の方法について考えていきましょう!